

算数少人数数学級だより No.5

H30. 7. 20

新神田小学校 算数少人数担当

7月に入り一気に暑い日が増えました。いよいよ夏の到来ですね。

1学期の学習内容がすべて終了し、先週は1学期の学習内容の復習などに取り組んできました。今回も、これまでの算数の学習について、子どもの様子、学習の成果と課題についてお知らせいたします。

【4年生】垂直・平行と四角形…全16時間

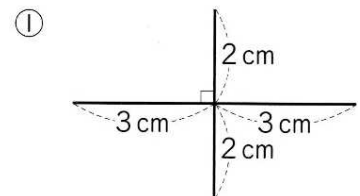
「つるぎコース」

対角線という新しい図形の見方を学習した際には、対角線だけを見て図形を弁別できる力が向上しました。

平行四辺形の作図では、三角定規かコンパスを使った方法がありました。子ども達は、三角定規の動かし方に苦戦していたので、コンパスを使った作図方法の方が簡単だと感じていたようです。

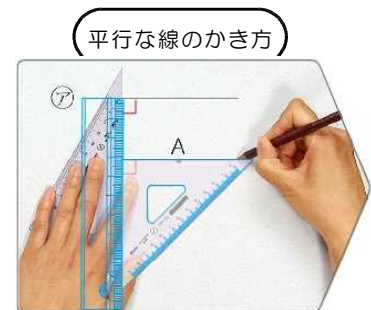


どんな四角形ができますか？



「はくたかコース」

「垂直」や「平行」などの概念は、最初は難しく感じるようでしたが、いくつも例を見ていく中で、理解することができていました。垂直や平行の作図は、教科書の例をもとに三角定規2枚を使って正しく描く力が向上しました。

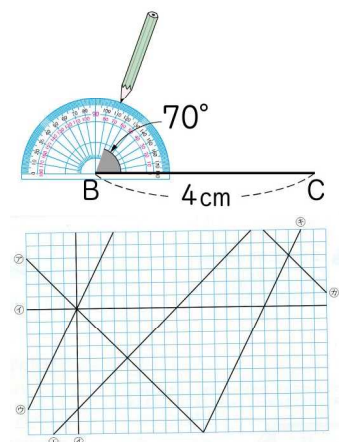


台形や平行四辺形、長方形など様々な四角形の対角線がどのように交わるか、対角線の長さはどうなるかなどを考え、表に正しくまとめることができました。

「かがやきコース」

垂直や平行の作図は、一瞬どうしたらよいか迷う姿が見られますが、試行錯誤を繰り返し、三角定規を使って正しくできるようになりました。方眼を使って描く方法も身に付きました。

平行四辺形の作図では、三角定規を用いるか、コンパスを用いるか、2つの方法がありました。それぞれ自分のやりやすい方法で描くことができるようになりました。



【5年生】小数のわり算を考えよう…全13時間

「クジラコース」

わり算は、かけ算に比べて子ども達の苦手意識が強い単元でした。わり算の筆算自体ができなかったり、忘れていた子がいたりしたので、わり算の筆算の反復練習にも取り組んでいく必要があると思いました。わりきれない時のあまりは、もとの小数点の位置にそろえて打つのですが、つい移動した後の小数点にそろえてしまったり、小数点を打ち忘れてしまったりすることもあります。

立式のために数直線を用いて考えることがスムーズにできていました。しかし、「もとにする大きさ」が何になるのか難しく、今後も意識させていきたいと思います。

小数でわる筆算のしかた

- ① わる数の小数点を右にうつして、整数になおす。
- ② わられる数の小数点も、わる数の小数点をうつした数だけ右にうつす。
- ③ わる数が整数のときと同じように計算し、商の小数点は、わられる数の右にうつした小数点にそろえてうつす。

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 6.3 \overline{) 75.6} \\ \underline{63} \\ 126 \\ \underline{126} \\ 0 \end{array}$$

まとめ

小数のわり算であまりを考えるとき、あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうちます。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 0.7 \overline{) 2.1} \\ \underline{2.1} \\ 0 \end{array}$$


わる数 < 1 のとき … 商 > わられる数
 わる数 = 1 のとき … 商 = わられる数
 わる数 > 1 のとき … 商 < わられる数

「イルカコース」


小数のわり算の筆算は、商の小数点の位置が移動するので、最初のころは小数点の位置を間違える子が多かったのですが、正確に計算できるようになりました。わりきれない時のあまりは、もとの小数点の位置にそろえて打つことも、正しくできるようになりました。


文章題は、数直線を書くことで、どのような式になるか考える手がかりにしていました。また、「もとにする大きさ」×「何倍かを表す大きさ」=「何倍かに当たる大きさ」という式を活用し、□を使った式に表す力が大変向上しました。これからも数直線から数量関係を捉え、自分で間違いに気づいていけるとよいです。

2 れなさんの家には、生後10日の犬がいます。今の体重は630gで、生まれたときの体重の1.8倍です。生まれたときの犬の体重は何gでしたか。

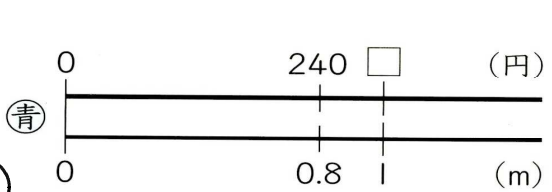
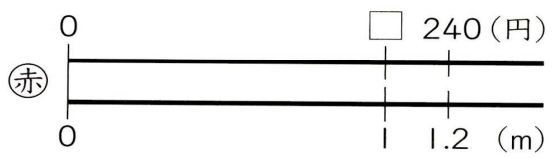


▶ どんな計算をすればよいか考えよう。



 生まれたときの体重を1とみたとき、生後10日の体重が1.8にあたるんだね。

□ × 1.8 = 630
 □ = 630 ÷ 1.8
 □ = ?



1に当たる数が「もとにする大きさ」です。

【5年生】